

「これからの本県高等学校教育に求めること」に係る検討状況

□は、全体会意見交換における委員からの発言等

これからの本県高等学校教育に求めること

目的

青森の未来を担う子どもたちをどのように育成していくのか

課題

グローバル化

多様化

少子化

等への対応

「オール青森」の視点

選択と集中

青森県が重視する視点

高校の「形」を考え直す!

<他県にない独自の尺度>  
課題をチャンスに!

これまでの取組の検証

「繋がる」視点

どの高校でも共通して取り組むべきもの

- 情報収集・活用・発信能力
- 社会に対する順応性
- 学び続ける力
- 自発性
- 愛郷心
- 責任感
- 協調性
- 礼儀作法
- 困難に負けない精神力
- 体力
- 強靱な心身

各学校の特色を生かして取り組むべきもの

- 地域を支えることが
- 地域経済に貢献できる有為な人財の育成
- 社会をリードする
- 地域と一体
- 世界に立ち向かって

キャリア教育

たくさんの経験・体験

民間団体、企業、地域との連携・協力

大学と連携したレベルアップの仕組みづくり

グローバル教育

愛郷心・郷土愛

地元を愛し、地元で貢献できる人材の育成

外に出てみなければ中の良さはわからない

高校教育の質の確保

教員の資質向上

教員数の確保

市町村、事業所、保護者、地域住民からの学校支援

志ある教育者、子どもたちが尊敬できる教育者の育成

ICTの活用

高校の規模・配置に関して留意すべき視点

県内どこに住んでいても高校教育を受けられる環境

教育効果を上げるには一定の規模による学校の活性化が必要

生徒や保護者の負担を考慮する必要

バランスを  
どう取るか

250人位の生徒がいれば部活動を選ぶことができ活性化

地域に学校を残してその地域の伝統を継承していくことも必要

多くの選択肢から子どもたちが自ら選択できることが大切

青森県が重視する視点

オール青森で支える子どもたちの育成・これまでの取組の検証等

【これからの時代に求められる力】

○夢や志の実現に向けて、自らの人生を切り拓き、他者と助け合いながら、幸せな暮らしを営むことのできる力  
(学習指導要領等の改善や大学入学者選抜制度の改革等の国の教育施策の動向に適切に対応)

共通性：青森県の高校生が共通して身に付ける力(生きる)

多様性：各学校の特色を生かし集中して育成する人

確かな学力：情報収集・活用・発信能力、学び続ける力等

- 基礎的・基本的な知識・技能
- 基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を解決する力
- 主体的・協働的に学習に取り組む意欲

豊かな心：愛郷心、責任感、協調性等

- 社会の責任ある形成者として必要な教養と行動規範
- 社会奉仕の精神、他者への思いやり

健やかな体：困難に負けない精神力、体力等

- 社会で自立して活動するために必要な健康・体力
- 自己管理等の方法

各学校における教育活動を通して、市民性を身に付け地域の担い手として地域社会を支え

上級学校へ進学してより専門的な知識や技術を身に付け、地域社会や産業の発展に貢献す

選抜性の高い大学への進学に対応した教育課程を設定し、社会を牽引す

各学校の特色・役割の明確化・重点化

◇「生きる」「働く」「学ぶ」をつなぐキャリア教育 → 生きる力の育成

◇「郷土理解」に基づくグローバル教育 → 「青森を知って世界に貢献する人財」「世界を知って青森に貢献する人財」の育成

◇「教員の資質向上」「教員数確保」「市町村、保護者等からの学校支援」「インクルーシブ教育・学び直し」「ICTの活用」

→ 高校教育の質の確保

本県高等学校教育に求めることを実現するために、学校はどうあればいいのか?

【第1分科会】

学校・学科の在り方について

【第2分科会】

学校規模・配置について